



# を育む会

第14回

発行日：平成28年4月1日  
発行者：「じねんじょ」を育む会  
会長 池内京子  
下関市生野町2丁目28-20  
社会福祉法人じねんじょ内

## 「あとからくる者のために」

「じねんじょを育む会」会長 池内 京子

昨年夏「青山庵」をリニューアルし「ほっとサロン・あおやまあん」として再開して以来、しょうがいの有無にかかわらずたくさんの皆さんが使って下さるようになりました。まじめな勉強会や様々な趣味の会、地区の自治会・子供会、また、気楽なおしゃべり会や喫茶店代わりにと幅広く使われています。

その中にしょうがい児・者の母親グループが数団体あり、その活動をずっと見ていて感じるがありましたので記してみます。

お子さんがこれから就学するという若いお母さん達には、しょうがいをまだ直に受け止めきれなかったり、学校への不安や家族との調和に悩んだり、という「ワカバマーク親」感が漂います。

一方、長年、担任や医師や行政や、世間や制度や偏見や、その他諸々の悩みごとに体当たりしてきた壮年のお母さん達には「熟親」のたくましさを感じられます。それは、お母さん達自身が多くの犠牲や我慢や風評に耐えてきたからこそであり、私はいつも感嘆して眺めていました。

例えば、母親の就職について。

以前はしょうがい児のお母さんが仕事を持つことは至難でした。学童保育の延長が認められず、市に改善を訴えると「あなたが看ればいいでしょう」とあつけなく断われ、ショックを受けた方もあります。そんな時、お母さん達でやりくりして子どもを預かり合ったり、夏休みだけの自宅開放を試みたり、時間と智慧を絞り、助け合い、まさに闘って来られました。今は徐々に周囲の理解が得られるようになり、放課後支援もあたりまえになりましたが、これも先輩お母さん達の涙ぐましい努力のたまものです。

母親の夢を語り合う場もあります。

ハイハイするお子さんを持つ若いお母さんは、今は仕事どころではないけれど、子どもが就学したら昼間短時間だけ勤めたいとか、自分の夢を諦めたくないで準備を始めたいとか、仲間同士で夢を語り合い、あと押ししているグループもあります。また、リーダーを年次順送りし、自分の子どもを見るだけでなく、他の子にも目配りできる親になっていけるよう模索しておられるグループもあります。しょうがい児だけでなく健常な子どもも育てたい、その時には兄弟姉妹とどう関わっていけばよいかとか、その子達が成長した時の進路とか、永遠の命題である嫁姑関係とか、意見交換を盛んにされ、しょうがい児を育てるノウハウだけでなく、本音をぶつけ合って、心のよりどころ・仲間作りを心掛けておられます。

東日本大震災から5年になる今年、詩人・坂村真民の「あとからくる者のために」という一節を読みました。



あとからくる者のために  
苦勞をするのだ  
我慢をするのだ  
田を耕し 種を用意しておくのだ  
あとからくる者のために

あとからくる者のために  
山や川や海を きれいにしておくのだ  
ああ あとからくる者のために  
みなそれぞれの力を傾けるのだ  
～と続きます。

地震や津波や原発で、郷里を汚染され常を取り戻すには、膨大な時間と人力が必要です。苦勞して我慢してこそ次世代につながる営みには、しょうがい児のお母さん達の努力に似たものがあるように思います。自分の子ども達の時にはできなかったことも、自分達が苦勞して道をつければ必ずあとに続く人達のためになる、と信じておられま

す。そして、あとに続く人は先人の努力を決して忘れない、それこそが進歩ではないでしょうか。

私は、直接種をまくことはできないけれど、種に水と日差しを与え、時には強い日差しから若芽を守ることにはできます。一緒に刈り取りもできるかもしれません。あとからくる者の交通整理はできるかもしれません。こうした先輩達の努力や周囲の支援を心の糧にしていけば、しょうがいがあっても、しょうがいのままで幸せに生きることはきっとできると思います。「この子がいたから私は幸せだった」と思える日が必ず来ると信じています。しょうがい児を抱えていてもごく普通に生活でき、ごく普通に夢が叶うことに、まだ十分な整備はされていないかもしれませんが、「あとからくる者のために」私も、今、何かをしたいと思っています。

## 活動報告

◎「じねんじょを育む会」から以下の行事に助成しています。

### じねんじょ公開フォーラム2015

田中総一郎氏(東北大学医学部小児科准教授)  
武山裕一氏(株式会社アライブ代表)を招いての  
フォーラムが開催されました。



I部 医療が必要な子供たちの防災  
対策～東日本大震災の経験か  
ら～

II部 呼吸リハビリテーション  
～そのゼロゼロを楽にしたいで  
すね！

の内容で開催されました。

非常時の対策や工夫が為になり、  
呼吸リハでは実際に体験して大変  
役に立ちました。



### じねんじょフェスティバル 2015

平成27年10月11日(日)に「第12回じねんじょフェスティバル」が開催されました。

下関看護リハビリテーション学校のみなさんによる出し物♪タ  
イガーフック&ちびフックとゲーム  
大会、ウクレレコンサートなどの  
催しがありました。



他には、親御さん主催のフリー  
マーケット、茶道、パステル画体

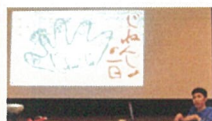


験、福祉関係者のバザーなどもありました。  
また、ボランティア、地域のみなさんのご協力  
もあり、楽しい一日過ごすことができました。  
ありがとうございました。



平成28年1月30日(土)海峡メッセ下関にて新春じねんじょ交  
流会が催されました。開所して11年経ち「じねんじょの今!!」メ  
ンバー家族、職員や理事、監事、評議員に育む会会員さん、み  
なさんとの交流を通して、じねんじょの輪をさらに大きなものとし  
たいと願い、開催されました。

理事長、育む会会長、保護者会会長の挨拶があり、施設の紹  
介DVD上映、各事業所の日常の活動の報  
告、交流ゲーム大会など、軽食、デザート、ソ  
フトドリンクをいただきながら、楽しい一時を過  
ぎました。



◎スイッチ機器を  
操作して、スクリーン  
の画面を変えています。〔料理〕



### 馬関まつり

「夏の恒例 馬関まつり！」 今年は、山口県下関市  
豊浦町出身で鍛山部屋に所属していた元大相撲力士：  
豊真将紀行さんが来られました。

愛のひろばでテントを張り、ゲーム、飲物販売、メンバ  
ーの作品即売会、青山庵の野菜や乾物などの販売をし  
ました。

多くの方から「がんばってネ！」と声を掛けていただき、あ  
りがとうございました。



### ○「じねんじょを育む会」会員のみなさまへ

平素より、本会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。 さて、当会は社会福祉法人じ  
ねんじょが行う各種の事業が円滑に運営され、ひとりでも多くの障がいを持つ皆さんが安心して利用が  
でき、より豊かな活動ができますよう支援をさせていただいています。これからも、継続また入会のご  
紹介をいただきますようお願い申し上げます。

◎「じねんじょ」ホームページに「育む会」掲載していますので閲覧下さい。

(<http://www.iinenio.or.jp/hagukumu.html>)